



園児の保護者の皆様へ

今年度の体育授業を振り返って

学校法人かおり karuna 認定こども園

体育講師 竹田 哲

園児の発達段階を考慮しながら基本的な動きや技能を身につけ、運動を豊かに実践していく為の基礎を培う考え方のもとに、何を教えるどのように指導していくかで学習を進めていきます。

園児が発達段階に即したやさしい運動に取り組み、自己に適した課題を見つけたり仲間と競争したり協力したりすることによって、もっと運動したい、できるようになりたい、勝ちたい等の欲求を充足し、楽しくできることが大切です。集団行動として、秩序正しく、能率的に安全に行動するための社会性、協調性や約束規則を理解することも体育として重要です。

年長、年中園児では体育運動を体育遊びとし、

体づくりの運動遊びとして各種態勢からの動物歩行表現、簡単な組体操によるバランス感覚、筋力強化。

器械・器具を使つての運動遊びとしてマット運動や跳び箱運動。

走・跳の運動遊びとして短距離、リレーバトン走、縄跳び運動。

ゲームの運動遊びとしてボール投げ、ドリブル競争、サッカーボールゲーム

こども園ではそれに加えて 水遊び水泳教室、表現リズム遊びとしてお遊戯会、園外保育等々を通して園児の体育遊びに取り入れることができる行事を実施しました。

今年度は新型コロナの影響で授業開始が遅れましたが園児の積極的な参加で例年のような成果をあげられたと思います。「科学的な研究と実践」レポートを参考にしながら、園児の自主性、可能性を伸ばしていくこと、園児の能力を過小評価することなく観察し子供を信頼し、大人は謙虚に行動していくことがこれからも大切だと確信できた一年間でした。

今後の成長を期待しています。ありがとうございました。

